

記入例（事業実施主体→国）

別紙様式1

番 号
年 月 日

令和5年度消費・安全対策交付金（地域での食育（都道府県域を越えた取組））事業
実施計画書の提出について

消費・安全局長 殿

所在地
名 称
代表者の役職及び氏名

消費・安全対策交付金交付等要綱（令和4年3月31日付け3消安第7340号農林水産事務次官
依命通知）第6の1に基づき、事業実施計画書等を添えて提出する。

事業実施主体名 一般財団法人〇〇協会

1 事業実施主体の概要（概要）

- ① 団体の概要（代表者：一般財団法人〇〇協会会長 〇〇 〇〇）
- ② 責任体制（責任者：一般社団法人〇〇協会〇〇部 〇〇 〇〇、副責任者：〃 〇〇 〇〇）
- ③ 交付金事業に係る自己負担分の拠出元（協会事業費）

2 事業担当者名及び連絡先

- ①氏名（ふりがな）：〇〇 〇〇（〇〇〇 〇〇〇）
- ②所属（部署名）：〇〇協会 〇〇課
- ③役職：〇〇係長
- ④住所：〇〇県〇〇市〇〇町〇〇9999 番地
- ⑤電話：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇、FAX：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
- ⑥メールアドレス：abcd-efg@city.hijk.lg.jp

3 事業対象地域：〇〇府〇〇市、〇〇県〇〇市、〇〇県〇〇市、

目標：地域での食育の推進

目 標 値	
現状（令和4年度）	事業実施後（令和5年度）
<p>【環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民を増やす】 目標：環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ国民の割合 【現状値】67.1%（第4次食育推進基本計画の現状値（2020年度））</p>	<p>【目標値】75.0%以上（第4次食育推進基本計画の目標値（令和7年度）） 増加率：7.9%（単年度1.58%） 令和5年度75.0%（単年度の増加率が低いことから令和7年度の目標値を設定）</p>
<p>【農林漁業体験機会の提供】 目標：農林漁業体験を経験した国民の割合 【現状値】65.7%（第4次食育推進基本計画の現状値（2020年度））</p>	<p>【目標値】70.0%以上（第4次食育推進基本計画の目標値（令和7年度）） 増加率：4.3%（単年度0.86%） 令和5年度70.0%（単年度の増加率が低いことから令和7年度の目標値を設定）</p>
<p>【全事業】 目標：産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 【現状値】76.5%（第4次食育推進基本計画の現状値（2020年度））</p>	<p>【目標値】80.0%以上（第4次食育推進基本計画の目標値（令和7年度）） 増加率：3.5%（単年度0.7%） 令和5年度80.0%（単年度の増加率が低いことから令和7年度の目標値を設定）</p>

事業の必要性及び目標値の考え方

1 事業の目的

【全国の課題】

近年、日本各地のみならず世界各国で異常気象に伴う、自然災害が頻発するなど、地球規模の気候変動の影響が顕在化しており、自然災害による農林漁業への被害が深刻なものとなっている。また、国民が健全な食生活を送るためには、その基盤として持続可能な環境が不可欠であり、環境と調和のとれた食料生産とその消費に配慮した食育を推進する必要がある。

【事業の目的】

従って、国民が〇〇に触れるなど食育イベントを以下のとおり実施することにした。

- 1. 〇/〇 〇〇〇〇・・・・・・・・・・。
- 2. 〇/〇 〇〇〇〇・・・・・・・・・・。

また、食育の根底にある「食べることと自然の恵みは繋がっている」という理念から、本イベントでは、〇〇〇食品ロス削減に重点をおいた環境学習も併せて行う。

特に、食品ロス削減に関しては、〇〇〇・・・・・〇〇の食文化の保護・継承への理解や関心の高まりが期待される。

〇〇〇〇・・・・・

これにより、〇〇〇・・・・、食育と環境問題への意識の向上、国産農水産物の魅力の再発見の効果を図る。

【取組内容】

1 課題解決に向けたシンポジウム等の開催

〇〇〇〇シンポジウム（講演会） 開催日：令和5年〇月～〇月末日

場 所：〇〇〇地域交流センター

：〇〇〇市文化会館会議室

対象者：事前申込応募者約100名

講演会と体験学習

①食育・環境問題の講演

〇〇産業に精通している「〇〇推進センター」に講演依頼をし、〇〇〇・・・・食育・環境・食品ロス削減の意識向上を図る。

②〇〇体験学習

体験学習では、〇〇〇〇・・・・、〇〇を活用した普及啓発・・・・。

また、〇〇〇〇・・・・、参加者全員の意識向上に努める。

2 環境に配慮した農林水産物、食品への理解向上の取組

① 企業向け食育・環境セミナー 開催日：令和5年〇月～〇月末日

場 所：〇〇〇協会会館

：〇〇〇市民ホール会議室

対象者：事前申込応募者約 200名

② 食育・環境に関するアンケート調査の実施

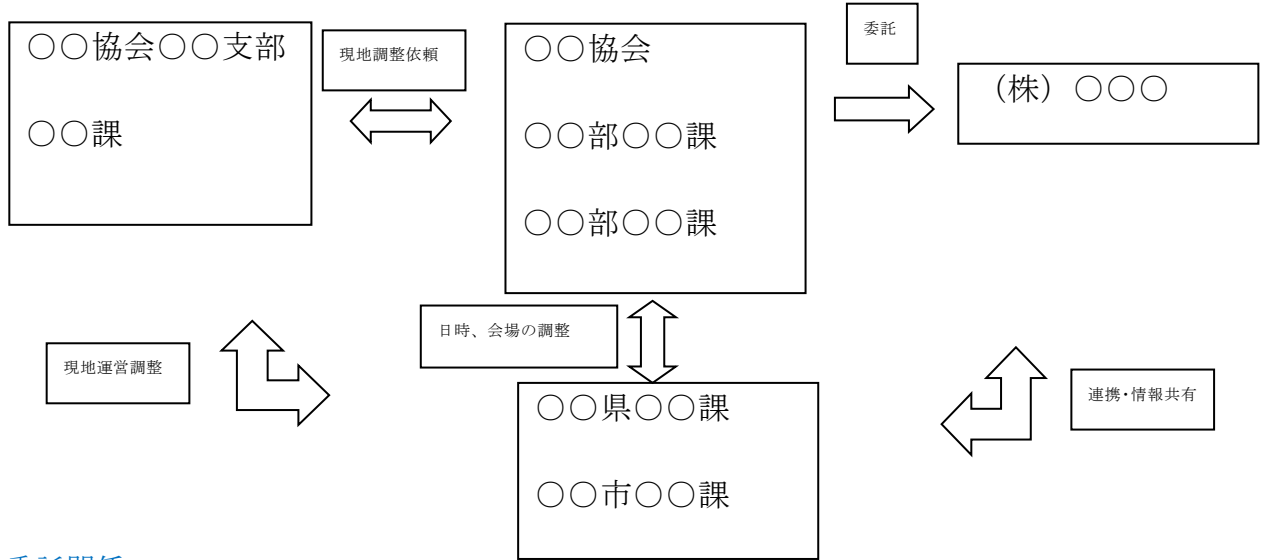
セミナー参加者に食育・環境に関するアンケート調査を実施し、調査結果を〇〇に活用するとともに、〇〇新聞やウェブサイト公表する。

シンポジウム及びセミナーの開催やアンケートの実施により、参加者はもとより全国において、〇〇〇〇・・・・、食品ロス削減や栄養バランスに配慮した食生活の実践の推進が見込まれる。

以上の取組により、国の第4次食育推進基本計画の目標達成及び国産農林水産物の魅力の再発見に寄与することが思料される。

2 実施体制

〇〇協会及び当該事業に関する部署



委託関係

〇〇の取組のうち〇〇を委託する。

委託先 : 〇〇〇

取組内容 : 〇〇〇

委託費 : 〇〇〇円

3 事業内容※事業区分ごとに具体的な内容を記載

事業項目（取組内容）	実施場所	実施時期・回数	対象者・人数	備考
1. 課題解決に向けたシンポジウム等の開催 〇〇〇〇シンポジウム （講演会）の開催 ① 食育・環境問題の講演 ② 〇〇体験学習	・〇〇〇〇地域交流センター（〇〇市） ・〇〇〇市文化会館会議室	〇月～〇月 ①②計2回	事前申込応募者約 100名	
2. 環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上の取組 ① 企業向け食育・環境セミナーの開催 ② 食育・環境に関するアンケート調査	・〇〇〇協会会館 ・〇〇〇市民ホール会議室	〇月～〇月 ①計2回 ②計2回	事前申込応募者約 200名	

(参考1)

一般財団法人〇〇協会

経費積算資料

事業実施主体名

◎ 事業名：地域での食育の推進（都道府県域を越えた取組）

課題解決に向けたシンポジウム等の開催

単位：円

環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上の取組

経費内容	交付対象経費（国庫補助金＋事業実施主体負担額）													交付対象外経費（事業実施主体負担額）	積算根拠（詳細）	
	講師謝金	講師旅費	賃金（運営補助）	会場借料	機器借料	資料印刷費	啓発資料作成・レンタル費	食材費（教材費、調理体験の教材、展示、試食用）	普及宣伝費	役員費	保険料	通信運搬費	消耗品費			
1. 課題解決に向けたシンポジウム（講演会）の開催 ・食育・環境問題講演 ・〇〇体験学習	100,000	50,000		5,000		5,000	50,000					3,000				講師謝金 1時間〇円×3時間×〇人×1回＝〇〇円 旅費 交通費 〇〇～〇〇（高速バス）〇円×往復×〇名＝〇〇円 経費の根拠：〇〇協会「報償費支給基準表」「旅費の手引き」による 会場借料 交流センター使用料 〇〇円 文化会館会議室使用料 〇〇円 資料印刷費 〇〇円×〇ページ×〇部数＝〇円 啓発資料・レンタル費 〇〇円 消耗品費 消毒液 4個 〇円 ウェットティッシュ 〇個 〇円 ごみ袋（大） 〇円 経費の根拠：過去実績に基づく、業者ホームページによる確認等
2. 環境に配慮した農林水産物・食品への理解向上の取組 ・企業向け食育環境セミナーの開催 ・食育・環境に関するアンケート	50,000	20,000		5,000		5,000						3,000	2,000			パネラー謝金 1時間〇円×3時間×〇人×1回＝〇〇円 旅費 交通費 〇〇～〇〇駅（北口）バス 〇円×往復＝〇〇円、電車〇駅～〇駅 〇円×往復＝〇〇円 経費の根拠：〇〇協会「報償費支給基準表」「旅費の手引き」による 会場借料 〇〇〇協会会館使用料 〇〇円 〇〇〇市民ホール会議室 〇〇円 資料印刷費 〇〇円×〇ページ×〇部数＝〇円 消耗品費 アンケート用鉛筆〇本入り 〇円 消毒液 4個 〇円 ウェットティッシュ 〇個 〇円 ごみ袋（大） 〇円 ： ： 経費の根拠：過去実績に基づく、業者ホームページによる確認等
合計	150,000	70,000	0	10,000	0	40,000	50,000	0	0	0	0	8,000	0	0	0	
事業に要する経費	328,000		国庫補助金		164,000		事業実施主体負担額		164,000							

※ 事業に使用する経費のうち、全額事業実施主体で負担する経費は「交付対象外経費（事業実施主体負担額）」欄に計上してください。

※ 「交付対象外経費（実施主体負担額）」については、「事業に要する経費」・「事業実施主体負担額」に加算しないで下さい。